

2015年（H27年）1月1日（木）

同窓会だより

第69号

発行

長野県松本ろう学校同窓会

年頭あいさつ

松本ろう学校同窓会長 内田博幸

新年明けましておめでとうございます。松本ろう学校同窓会会員並びに賛助会員の皆様にとりましても、本年が良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、土砂災害（南木曾町）、御嶽山噴火（長野県・岐阜県）、地震（白馬村他）と、県内各地で災害が多かった一年でした。被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

また、昨年母校で開催された関東聾学校卓球大会では、同窓会の皆様からたくさんのご厚志をいただき、母校を通じて寄付をすることができました。改めて皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

そして昨年には中信地区の特別支援教育の充実に向けて、「中信地区特別支援教育連携協議会」が開催されました。松本養護学校などでは生徒数が増えて校舎が過密化している一方、母校は児童生徒数が減少するなど、中信地区の特別支援教育には様々な課題があります。「松本ろう学校を支える会」とともに「連携協議会」の場で意見を出してきましたが、解決にはまだまだ難しい状況でした。関係者とともにしっかりと協議を進めていく必要があります。何かご意見等がありましたらご遠慮なく同窓会役員までお寄せくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。

本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、私のごあいさつといたします。

今年もよろしくお願いたします

松本ろう学校長 米持絹子

新年、明けましておめでとうございます。

同窓会の皆様方におかれましては、お元気で希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年もよろしくお願申し上げます。

松本ろう学校は皆様方の温かいご支援・ご協力をいただき、子どもさんの人数こそ少なくなりましたが、人数に負けない元気いっぱい、笑顔いっぱいの松本ろう学校らしい一年を過ごすことができました。ありがとうございました。

特に第44回のはと祭での同窓会の部屋や食堂でのコーヒーサロンは、人が行きかう憩いの場所として素敵な運営をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、新しい年も子どもさん一人ひとりが自分の持てる力を十分に発揮し、キラキラ輝やいていけるよう努めてまいります。変わらぬご支援をいただきますようお願いし、新年のご挨拶といたします。

お悔やみ申し上げます

元松本ろう学校長・和田純男 先生

元長野県松本ろう学校長の和田純男（わだ・すみお）先生が、平成 26 年 9 月 29 日（月）病気のためご逝去されました。88 歳でした。

和田先生は、長野ろう学校教諭、県立移管に伴い松本ろう学校教諭となり、松本盲学校教頭、松本ろう学校（県立第 8 代・昭和 55 年～61 年度）校長の特殊教育にご尽力されました。

昭和 58 年 11 月 26 日には、開校 55 周年記念として「校歌」を制定、発表会が行われました。



開校 55 周年記念「校歌発表会」和田校長先生の挨拶

【和田純男先生を偲んで】

松本ろう学校より「和田純男先生ご逝去」の知らせを受け、本当に驚きと悲しみでいっぱいです。

和田校長先生が松本ろう学校にいらっしゃった頃、私は高等部 3 年間の思い出と、同窓会やろうあ校長の小岩井是非雄先生の思い出話をして下さったり、待望の「初代校長小岩井是非雄先生」銅像建立と「小岩井是非雄の伝記」執筆に対して、温かいご指導を賜りました。本当に素晴らしい先生だったと、誇りに思っています。

優しかった和田先生、今までのことに感謝申し上げますとともに、どうぞ安らかにお休みください。和田先生、本当にありがとうございました。

内田博幸（昭和 57 年度松本ろう学校高等部卒業）

松本ろう学校『第44回 ほと祭』

松本ろう学校文化祭『第44回ほと祭』、10月11日（土）（校内公開）、12日（日）（一般公開）が行われました。

「同窓会展」では、年に一度母校に集まった卒業生方が、自慢の作品を展示しました。沢山の写真やビデオ上映「2013年度同窓会活動の様子」と、相澤英人さんによる「鉄道模型（懐かしい特急が走る!）」が展示されました。のぞきに来てくれた母校の子どもたちが鉄道模型を見て大喜び、盛り上がりました。

喫茶ではコーヒー販売も行い、楽しい一日を過ごすことができました。



同窓生作品展示の風景



同窓会喫茶コーナー「コーヒー販売」



相澤英人さん「鉄道模型」展示



「ほと祭・同窓生展」終了後、同窓会役員の写真

松本ろう学校同窓会 東海分会一泊旅行

10月4日(土)～5日(日)の2日間、松本ろう学校同窓会東海分会一泊旅行が行われました。参加者は4名で、岡山県倉敷「白壁の町並み」と赤穂「赤穂義士ゆかりの城下町」を見学しました。

台風が九州に接近中でしたが、幸いにして二日間とも雨が降らず、天気に恵まれました。

まず、初日は倉敷にて白壁の古き町並みと大橋家住宅、アイビスクエアのおしゃれな美観地区を散歩しました。川沿いに白壁が続いてレトロモダンな風景でした。

そして二日目は、赤穂義士の歴史を、ガイドさんと一緒に案内してもらいました。息継ぎ井戸・花岳寺・大石神社・赤穂城跡・歴史博物館も見学し、3時間かかりました。少し疲れましたが、「忠臣蔵」の仇討の物語となった赤穂のことを初めて知りました。通訳者がいなかったら歴史を知ることなかったと思います。赤穂城跡の近くに、古くから塩田があり、塩が盛んに作られていたのも有名だそうです。いろいろ見学して勉強になり、良き思い出になりました。

(東海分会長：新海和子)



岡山県・倉敷美観地区

平成26年度：松本ろう学校卒業生消息

●亡くなられた次の方々のご冥福をお祈り申し上げます。

・10月1日 小沢英明様 ・10月28日 青山秀代様

京都府立聾・盲学校の 資料室を見学して

平成 26 年 11 月 22 日（土）～23 日（日）の 2 日間、第 17 回日本聾史学会が京都府・立命館大学衣笠キャンパス清心館にて開催されました。研究大会の分科会の内容は、「フィールドワーク入門」についてで、京都府立聾学校と盲学校の資料室訪問に参加しました。

22 日（土）は、京都聾学校を訪問しました。校長の酒井弘先生は手話がとても上手で、聾学校の歴史や校舎内の案内をわかりやすく説明をしていただき、とても良かったです。

23（日）は、京都盲学校を訪問し、元教諭・日本盲教育史研究家の岸博実先生から盲啞院の歴史について説明をいただきました。資料室には重要な資料が沢山保存されており、その多くが“京都府指定文化財”だそうです。盲啞院の歴史について聞くことができ、大変勉強になりました。

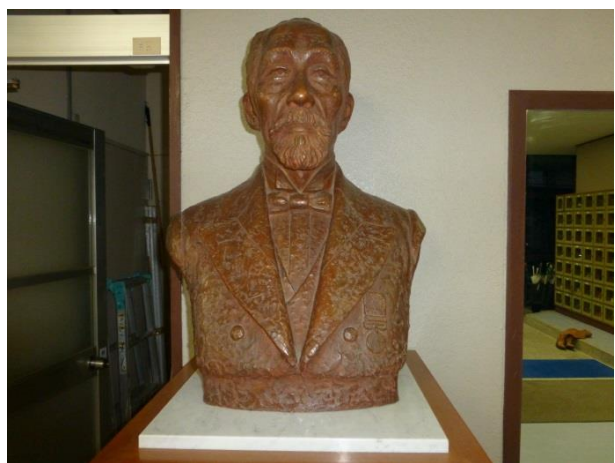
（日本聾史学会・運営委員 内田 博 幸）



京都聾・酒井弘校長先生



京都盲・岸博実先生



古河太四郎先生銅像（京都聾）



古河先生石像（京都盲）

新聞切り抜き

長野ろう学校高等部・松本ろう学校専攻科卒業生

なか だ ひろ み

中田裕美さん おめでとうございます！

砲丸投げ 10メートル超え目指す

陸上・知的障害 中田 裕美 (30)



初出場となるアジアパラで日本記録更新を狙う砲丸投げの中田裕美(軽井沢町)

知的障害女子の日本記録を持つ30歳が初のアジア舞台に挑む。9月のジャパンパラで9.79の日本新をマークしたばかり。9月のジャパンパラで9.79の日本新をマークしたばかり。軽井沢町出身。先天性とみられる聴覚、知的障害がある。県

長野ろう学校時代、バレーボールとともに励んだ陸上で砲丸投げに出合い、高等部3年の時に全国大会8位に入った。県松本ろう学校高等部専攻科を卒業後、軽井沢町の地域支援活動センターに通所。「スペイン・長野」に登録して砲丸投げを続け、2011年のSO夏季世界大会(アテネ)で銅メダルを獲得。その後、日本知的障害者陸上競技連盟の大会にも出場し、日本記録を更新し続ける。

ロンドンパラリンピックで知的障害種目の一部が復活。砲丸投げも含まれる。「リオデジャネイロ、東京パラにも出たい」と目を輝かせる。

災害情報

平成 26 年 9 月 27 日（土）午前 11 時 52 分、長野県と岐阜県の県境に位置する御嶽山（おんたけさん標高 3,097m）が噴火しました。

御嶽山の噴火による被害が多数ありました。山梨県のろう者夫婦も被害に遭われ、女性が死亡、男性は行方不明とのことです。

御嶽山噴火でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に対して心からお見舞いを申し上げます。



白馬村風景（撮影：山崎 勝）

平成 26 年 10 月 22 日（土）午後 10 時 8 分頃、北安曇郡白馬村を震源とするマグニチュード 6.7 の地震が発生しました。長野市ほかで震度 6 弱、松本市と安曇野市ほかで震度 4 を観測しました。今もまだ余震が続いています。この地震は「長野県神城断層地震」と命名されました。

いつどこで地震が起こるかはわかりません。大切なのはそれに備えて、非常持出品の準備や、家の中のたんすなどの固定等を行うことです。（※下記の画像を参考下さい！）



《お知らせ》

■ 松本ろう学校 専攻科作品展 について

- ・ 日 時：平成 27 年 2 月 7 日（土）～8 日（日）
- ・ 場 所：松本市南部公民館（なんなん広場）

【連絡先】松本ろう学校 FAX0263-85-1411

■ 松本ろう学校同窓会 第 70 回定期総会 について

- ・ 日 時：平成 27 年 3 月 予定
- ・ 場 所：未定

※2015 年 2 月に通知を配布しますので、そちらをご覧ください。

- ・ 定期総会終了後、午後 1 時より咲花洋一氏による記念講演会を行います。詳細は下記の通りです。

さきばなよういち

■ 咲花洋一氏による記念講演会について



◆演 題

「聾啞者が楽しめる漫画とは...？」

◆講 師

ろうあ漫画家 咲花洋一 氏

◆講師プロフィール

本名：武石豊一（たけいし・とよかず）

昭和 8 年（1933 年）東京生まれ。3 歳の時、百日咳のため失聴。東京教育大学（筑波大学）附属聾学校卒業。18 歳からプロとして漫画家デビュー、13 年間活躍のあと刺繍業にて生計、現在はフリー。

※記念講演会のチラシは、2015 年 2 月に配布する予定です。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。